



2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日

上場会社名 株式会社パソナグループ 上場取引所 東
 コード番号 2168 URL <https://www.pasonagroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 若本 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 副社長執行役員CFO (氏名) 仲瀬 裕子 (TEL) 03-6734-0200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の連結業績(2025年6月1日~2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	76,965	0.8	△568	—	△64	—	△606	—
2025年5月期第1四半期	76,323	△15.1	△436	—	△479	—	△1,194	—

(注) 包括利益 2026年5月期第1四半期 △613百万円(—%) 2025年5月期第1四半期 △986百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	△15.92	—
2025年5月期第1四半期	△30.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第1四半期	246,782	136,010	52.8
2025年5月期	265,038	141,134	50.9

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 130,271百万円 2025年5月期 134,934百万円

(注) 2025年5月期及び2026年5月期第1四半期の総資産額には、受託案件に係る顧客からの一時的な「預り金」とこれに見合う「現金及び預金」が資産及び負債に計上されております。詳細は「1. 経営成績等の概況(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況」をご参照ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2026年5月期	—				
2026年5月期(予想)		0.00	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年5月期期末配当の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 60円00銭

(注) 2026年5月期(予想)期末配当の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 60円00銭

3. 2026年5月期の連結業績予想(2025年6月1日~2026年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	6.7	2,500	—	2,800	—	500	—	12.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期1Q	40,190,300株	2025年5月期	40,190,300株
② 期末自己株式数	2026年5月期1Q	2,231,934株	2025年5月期	1,823,771株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年5月期1Q	38,132,022株	2025年5月期1Q	39,190,300株

(注) 当社は株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-ESOP）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-ESOP）に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、当社ホームページ(<https://www.pasonagroup.co.jp/ir/>)に本日(2025年10月15日)掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①当第1四半期の経営成績

■連結業績	2025年5月期 第1四半期	2026年5月期 第1四半期	増減率
売上高	76,323百万円	76,965百万円	+0.8%
営業損失(△)	△436百万円	△568百万円	—
経常損失(△)	△479百万円	△64百万円	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,194百万円	△606百万円	—

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、米国の通商政策等による影響が一部でみられたものの、景気は緩やかな回復が継続しました。こうした中、当社グループの業績は、当四半期もBPOソリューションで大型受託案件のピークアウト影響を受けましたが、エキスパートソリューション及びライフソリューション、地方創生・観光ソリューションが事業拡大したことで、連結売上高は増収となりました。費用面では、人員増と処遇向上及び退職給付費用増により人件費が増加したことに加え、グループで導入しているITインフラの利用料金の改定によりIT関連費用が膨らんだことから販管費が増加しました。これらの結果、連結営業利益は前年同期からは減益となりました。連結経常利益は、大阪・関西万博でのパビリオン出展による協賛金収入及び物販収入により、営業外収益が増加したことで前年同期から改善しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額が減少したものの、万博出展関連費用を特別損失に計上したことから赤字となりました。

②事業別の状況(セグメント間取引消去前)

■セグメント別業績

売上高	2025年5月期 第1四半期	2026年5月期 第1四半期	増減率
HRソリューション	70,769百万円	71,096百万円	+0.5%
BPOソリューション(委託・請負)	33,698百万円	33,071百万円	△1.9%
エキスパートソリューション(人材派遣)	33,773百万円	34,680百万円	+2.7%
キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)	3,297百万円	3,345百万円	+1.4%
グローバルソリューション(海外人材サービス)	2,787百万円	2,777百万円	△0.4%
ライフソリューション(子育て支援、介護等)	2,052百万円	2,229百万円	+8.6%
地方創生・観光ソリューション	1,716百万円	2,085百万円	+21.5%
消去又は全社	△1,003百万円	△1,223百万円	—
合計	76,323百万円	76,965百万円	+0.8%

営業利益	2025年5月期 第1四半期	2026年5月期 第1四半期	増減率
HRソリューション	3,453百万円	3,432百万円	△0.6%
BPOソリューション(委託・請負)	2,478百万円	2,567百万円	+3.6%
エキスパートソリューション(人材派遣)			
キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)	975百万円	864百万円	△11.3%
グローバルソリューション(海外人材サービス)	73百万円	26百万円	△64.1%
ライフソリューション(子育て支援、介護等)	△9百万円	18百万円	—
地方創生・観光ソリューション	△408百万円	△336百万円	—
消去又は全社	△3,545百万円	△3,709百万円	—
合計	△436百万円	△568百万円	—

HRソリューション 売上高 71,096百万円 営業利益 3,432百万円**〔BPOソリューション（委託・請負）〕 売上高 33,071百万円**

新たに企業のDX支援やシステム開発等の案件獲得が進んだほか、企業の経営支援を行う顧問コンサルティング事業が堅調に推移しました。パブリックセクターでは、リスクリングや行政事務代行の受託が拡大しました。大型受託案件のピークアウトによる減収幅は縮小しているものの、売上高は前年同期比で減収となりました。

〔エキスパートソリューション（人材派遣）〕 売上高 34,680百万円

人材不足が続く中、人材派遣の需要は安定しており、派遣稼働者数は前年同期を上回って推移しました。当期においては、受注数の拡大を目指すとともに、新規登録者の登録時の利便性向上と就労決定までのプロセスを見直すことで、成約の早期化を実現し、売上高は増収となりました。

〔キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）〕 売上高 3,345百万円 営業利益 864百万円

人材紹介事業では、戦略的に注力するハイキャリア領域は安定した需要が継続し、紹介手数料の平均単価も上昇しました。一方、社内システムのリプレイスや、一部顧客で採用抑制が見られたことから、売上高が想定を下回りました。

再就職支援事業では、事業構造の見直しを進める企業で1社あたりの規模が拡大しました。また、従業員の自律的なキャリア形成を支援するコンサルティングやリスクリングサービスの需要は堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は増収となったものの、IT関連費用の増加により営業利益は減益となりました。

グローバルソリューション（海外人材サービス） 売上高 2,777百万円 営業利益 26百万円

米国では、経理・給与計算業務のBPOサービスや人材紹介が拡大しました。台湾では、半導体製造業を中心に人材紹介及びBPOサービスが拡大しました。一方で、一部地域では人材需要の変化により案件獲得が進まなかったことや特定企業の事業縮小に伴う取引減少により、セグメント売上高は減収となりました。費用面では各国で営業やコンサルティング人材の人件費が増加し、為替影響も加わって減益となりました。

ライフソリューション（子育て支援、介護等） 売上高 2,229百万円 営業利益 18百万円

子育て支援事業では、東京都内で今春から新規学童クラブ等の運営が拡大したことで売上高が増収となりました。費用面でも施設ごとに収支管理を強化しており、収益が改善しました。

ライフサポート事業では、都市部の自治体を中心に提供する家事代行等の子育て支援サービスの拡充に伴い、当該事業の受託規模が拡大し、増収増益となりました。

地方創生・観光ソリューション 売上高 2,085百万円 営業利益 △336百万円

「ニジゲンノモリ アニメ淡路島公園」では、コンテンツごとに最適なプロモーション施策を実施したことで関西圏以外での顧客獲得と認知度拡大が進んだほか、アニメ「鬼滅の刃」の期間限定イベント（2025年12月14日まで）が来場者数を牽引しました。また、大人気キャラクターである「ハローキティ」の世界が楽しめるレストラン「HELLO KITTY SMILE」「HELLO KITTY SHOW BOX」は、旅行会社等との事業連携を強化したことで団体客が増加しました。今夏より兵庫県淡路島で顧客の滞在機会を増やす宿泊施設や飲食施設を開設したことで一時費用が増加しましたが、既存施設の売上増によりセグメントの赤字幅は改善しました。

消去又は全社 売上高 △1,223百万円 営業利益 △3,709百万円

当四半期は、グループで導入しているITインフラの利用料金の改定によりIT関連費用が増加したほか、セグメント間取引消去額の影響もあり、営業利益は前年同期から減少しました。当社は「PASONA GROUP VISION 2030」の達成に向けて、人員の適正配置やコスト配分の見直しを進めており、当期はコストコントロールの強化を図ってまいります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産及び負債には、当社グループによる使用が制限されている受託案件に係る顧客からの一時的な「預り金」とそれに見合う「現金及び預金」が26,713百万円（前連結会計年度末35,319百万円）計上されております。

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて18,255百万円減少（6.9%減）し、246,782百万円となりました。資金運用により有価証券が3,000百万円増加、地方創生事業等の有形固定資産が6,803百万円増加した一方で、上記の「預り金」の減少や、固定資産の取得及び配当金や法人税等の支払いにより現金及び預金が31,430百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて13,131百万円減少（10.6%減）し、110,772百万円となりました。上記の受託案件等による預り金が8,155百万円減少、買掛金が1,568百万円減少、未払法人税等が1,228百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて、5,124百万円減少（3.6%減）し、136,010百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失が606百万円、配当金の支払いが2,956百万円あったことにより利益剰余金が3,563百万円減少、自己株式取得に伴い自己株式が1,029百万円増加したことなどによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、52.8%（前連結会計年度末50.9%）となりました。なお、受託案件に係る「預り金」に伴う「現金及び預金」を控除した総資産は、220,069百万円（同229,719百万円）であり、自己資本比率は59.2%（同58.7%）となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は創業から50年の節目を迎え、次の50年を見据えた新たな成長戦略として2026年5月期から始まる5ヵ年を「PASONA GROUP VISION 2030」と位置付け、収益構造の改革及び新たな事業成長に向けた成長戦略を掲げ、持続的な企業成長と更なる企業価値の向上に向けて取り組んでおります。

2026年5月期においては、期初計画通り、当事業年度もBPOソリューションは大型受託案件のピークアウトによる減収影響を受けているものの、BPOサービスの需要は堅調に推移しており、オペレーションの効率化を図ることで粗利率の改善を進めております。また、地方創生・観光ソリューションは、人気の高いアニメやキャラクターを用いた施設が来場者増を牽引しており、更なる集客施策やブランディング戦略、顧客の体験価値の向上に取り組むことで、収益の拡大に取り組んでおります。

2025年7月15日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,771	93,341
受取手形、売掛金及び契約資産	41,272	42,029
有価証券	14,500	17,500
棚卸資産	2,352	2,646
その他	6,100	7,212
貸倒引当金	△48	△52
流動資産合計	188,948	162,677
固定資産		
有形固定資産	47,145	53,949
無形固定資産		
のれん	815	754
その他	6,802	7,517
無形固定資産合計	7,617	8,271
投資その他の資産		
その他	21,245	21,816
貸倒引当金	△11	△19
投資その他の資産合計	21,233	21,796
固定資産合計	75,997	84,018
繰延資産	92	87
資産合計	265,038	246,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,771	1,202
短期借入金	6,043	5,952
未払費用	18,596	18,678
未払法人税等	1,621	393
預り金	38,741	30,586
賞与引当金	4,217	3,148
役員賞与引当金	20	13
資産除去債務	66	92
その他	15,650	15,892
流動負債合計	87,728	75,961
固定負債		
社債	2,100	2,100
長期借入金	23,671	22,935
役員株式給付引当金	253	253
従業員株式給付引当金	278	278
退職給付に係る負債	2,359	2,341
資産除去債務	2,923	2,909
その他	4,589	3,991
固定負債合計	36,175	34,810
負債合計	123,904	110,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	15,963	15,946
利益剰余金	115,788	112,224
自己株式	△2,577	△3,607
株主資本合計	134,174	129,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	100
為替換算調整勘定	530	504
退職給付に係る調整累計額	133	100
その他の包括利益累計額合計	760	706
新株予約権	2	2
非支配株主持分	6,196	5,736
純資産合計	141,134	136,010
負債純資産合計	265,038	246,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年6月1日 至2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年6月1日 至2025年8月31日)
売上高	76,323	76,965
売上原価	59,949	59,880
売上総利益	16,374	17,085
販売費及び一般管理費	16,810	17,653
営業損失(△)	△436	△568
営業外収益		
受取利息	15	105
持分法による投資利益	12	-
協賛金収入	-	225
補助金収入	9	11
万博物販収入	-	260
その他	83	154
営業外収益合計	121	757
営業外費用		
支払利息	86	78
持分法による投資損失	-	13
コミットメントフィー	7	7
万博物販原価	-	127
その他	70	27
営業外費用合計	164	253
経常損失(△)	△479	△64
特別利益		
持分変動利益	2	2
固定資産売却益	56	0
投資有価証券売却益	-	4
特別利益合計	58	8
特別損失		
固定資産除売却損	26	12
万博出展関連費用	-	520
特別損失合計	26	532
税金等調整前四半期純損失(△)	△447	△588
法人税、住民税及び事業税	238	224
法人税等調整額	363	△248
法人税等合計	601	△24
四半期純損失(△)	△1,049	△563
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	43
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,194	△606

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
四半期純損失(△)	△1,049	△563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	4
為替換算調整勘定	146	△20
退職給付に係る調整額	△125	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	63	△50
四半期包括利益	△986	△613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,140	△661
非支配株主に係る四半期包括利益	154	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期 連結 損益計算書 計上額 (注)2
	HRソリューション		グロー バル ソリュー ション	ライフ ソリュー ション	地方創生 ・観光 ソリュー ション			
	BPOソリュー ション、 エキスパート ソリュー ション	キャリア ソリュー ション						
売上高								
BPOソリューション	33,176	—	—	—	—	33,176	—	33,176
エキスパート ソリューション	33,666	—	—	—	—	33,666	—	33,666
キャリア ソリューション	—	3,294	—	—	—	3,294	—	3,294
グローバル ソリューション	—	—	2,745	—	—	2,745	—	2,745
ライフ ソリューション	—	—	—	1,920	—	1,920	—	1,920
地方創生・観光 ソリューション	—	—	—	—	1,520	1,520	—	1,520
顧客との契約から 生じる収益	66,842	3,294	2,745	1,920	1,520	76,323	—	76,323
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	66,842	3,294	2,745	1,920	1,520	76,323	—	76,323
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	629	2	42	132	196	1,003	△1,003	—
計	67,472	3,297	2,787	2,052	1,716	77,327	△1,003	76,323
セグメント利益 又は損失(△)	2,478	975	73	△9	△408	3,109	△3,545	△436

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,545百万円には、当社におけるグループ管理費用及び新規事業のインキュベーションコストなど△3,565百万円、セグメント間取引消去19百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自2025年6月1日至2025年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期 連結 損益計算書 計上額 (注)2
	HRソリューション		グロー バル ソリュー ション	ライフ ソリュー ション	地方創生 ・観光 ソリュー ション			
	BPOソリュー ション、 エキスパート ソリュー ション	キャリア ソリュー ション						
売上高								
BPOソリューション	32,447	—	—	—	—	32,447	—	32,447
エキスパート ソリューション	34,557	—	—	—	—	34,557	—	34,557
キャリア ソリューション	—	3,335	—	—	—	3,335	—	3,335
グローバル ソリューション	—	—	2,710	—	—	2,710	—	2,710
ライフ ソリューション	—	—	—	2,102	—	2,102	—	2,102
地方創生・観光 ソリューション	—	—	—	—	1,810	1,810	—	1,810
顧客との契約から 生じる収益	67,005	3,335	2,710	2,102	1,810	76,965	—	76,965
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	67,005	3,335	2,710	2,102	1,810	76,965	—	76,965
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	745	9	66	127	274	1,223	△1,223	—
計	67,751	3,345	2,777	2,229	2,085	78,189	△1,223	76,965
セグメント利益 又は損失(△)	2,567	864	26	18	△336	3,140	△3,709	△568

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,709百万円には、当社におけるグループ管理費用及び新規事業のインキュベーションコストなど△3,624百万円、セグメント間取引消去△84百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年6月1日 至2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年6月1日 至2025年8月31日)
減価償却費	605	673
のれん償却額	82	60

(重要な後発事象)

該当事項はありません。